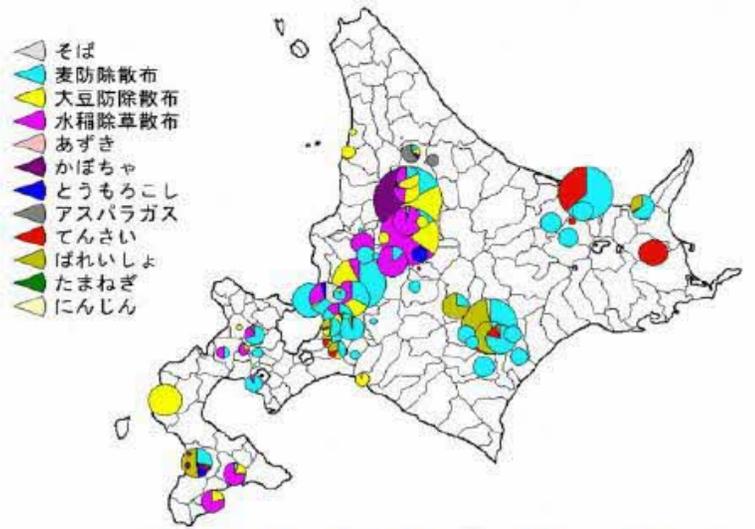


請負散布サービスの現状

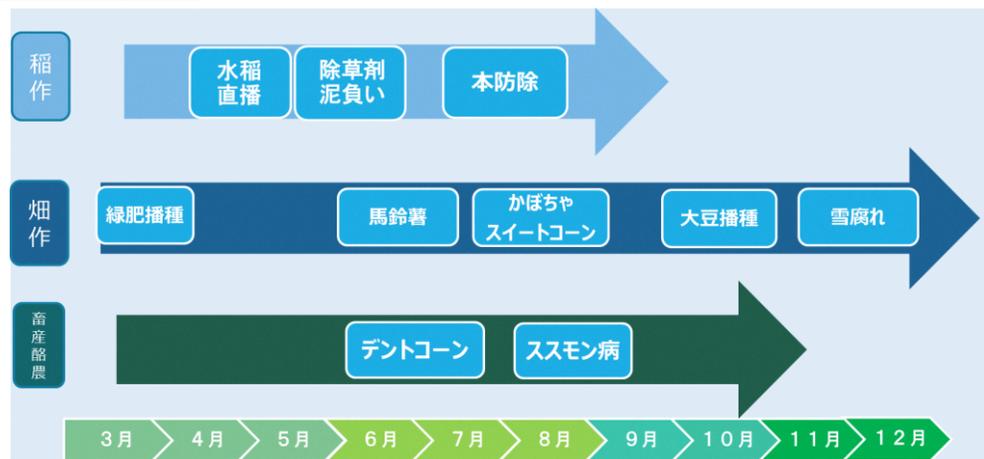


弊社の請負散布の分布図（十勝方面は緊急防除での使用用途）

当社は1989年から無人ヘリコプターによる請負散布事業を展開しており、現在では、約3万haの面積を請負として散布しています。水稲での請負散布がメインであるが、最近では、畑作や畜産分野でも少しずつ請負散布のニーズが拡大しています。

右記は、
年間におけるドローンでの請負散布の
業務形態イメージ図。

昨今、ドローンでの散布スキームは、多作物
展開や地域特性での活用が進み、利用用途
が拡大しつつあります。



ドローンの利活用をサポート

小型無人機の利活用をサポート
TECHNOLOGY FARM 西の里

機体を販売して終わりではない。
点検・整備・保管はもちろん、研修も対応できる施設です。

グループ会社でもある北日本スカイテック（株）は、（一社）農林水産航空協会の認定整備工場として、無人ヘリ、マルチローターの整備を全道4拠点でメンテナンスを実施しています。各地における安全講習フォローアップも実施しており、しっかり整備された機体と講習を受けたオペレーターが対応するので安心して請負散布をご活用いただけます。ドローンの認定教習として、スカイテックドローンスクールも開校しているので、請負含めて、ご関心のある方は以下までお問い合わせください。

<https://skytech-drone-sch.jp/>
<https://www.k-sky.co.jp/>

【内容に関する問い合わせ先】
株式会社サングリン太陽園（担当：白川）
メールアドレス：t.shirakawa@sun-green.co.jp

マルチローターシェアリングサービス

MULTI ROTOR SHARING SERVICE

マルチローターシェアリングサービス



マルチローター（農業用ドローン）もシェアの時代！初期の導入コストをおさえて必要な時だけ利用することができます。また、複数名で作業タイミングを合わせれば、さらに一人あたりのコストを低くおさえることも可能に。購入やリースとは違う「シェアサービス」のご案内です。



初期費用をおさえて手軽にドローンを試せたのはもちろん、しっかり整備された機体で安心して利用できた
（香取町 / 生産者様）



ご利用プラン-A

機体みのプラン

料金はお問い合わせください



ご利用プラン-B

機体とオペレーター派遣がセットとなったプラン

料金はお問い合わせください

メリット

経済的

機体購入にかかる初期費用が不要。さらに近隣の生産者同士でシェアすることでさらにご負担が少なくなります。

安心安全

全機体しっかり整備してお届けしますので、置いてすぐに安心してご利用いただけます。

スキル不要

マルチローター本体のみのお届けも可能ですが、操縦資格をお持ちでない方には、オペレーターの派遣も可能。

ご利用方法

簡単！6ステップ

STEP-01 お申し込み

STEP-02 ご利用日程調整

STEP-03 機体お届け

STEP-04 農業散布にご利用

STEP-05 機体引き上げ

STEP-06 代金請求・お支払い

詳しくは裏面をご覧ください

機体一例

農業散布のために進化したXAG社 P30
豊富なタンク容量と均一な散布が魅力のマルチローター



P30

XAG社

■ 基本性能

サイズ	幅：1260mm×1260mm×390mm 高さ（最大）：2010mm×2010mm×390mm
機体重量	14.05kg（バッテリー、タンクを含む）
バッテリー駆動時間	15～1.5分
農業散布量	1kg、170kg
タンク容量	18kg

最大18m/sの強力な空気が噴射により風の影響を問わずに均一に薬剤や種子を圃場に散布することが可能です。おすすめの作物は水稲・小麦など。近年はかぼちゃ、玉ねぎにも活用されています。

機体は追加予定ですので、詳しくはお問い合わせください。

初期費用を抑えて農業用ドローンを利用してみませんか？

お問い合わせ先

株式会社
サングリン太陽園



011-892-6281 (担当部署：ソリューショングループ)



<https://sun-green.co.jp/contact/>
HPのお問い合わせフォームよりお問い合わせください。



水稲おけるドローン追肥の実証

国際航業株式会社、北日本スカイテック株式会社と連携した取り組み。

【ドローン追肥実証フロー】

① 営農支援サービス天晴れ生育診断を実施
(人工衛星から診断を採用)

※実用化の目的に応じて、人工衛星ならびにドローンの診断方法を使い分けています。

② 生育診断結果に応じた追肥量の幅を確定

③ ドローンのフライトプランを作成、
②で確定した追肥量と照合。

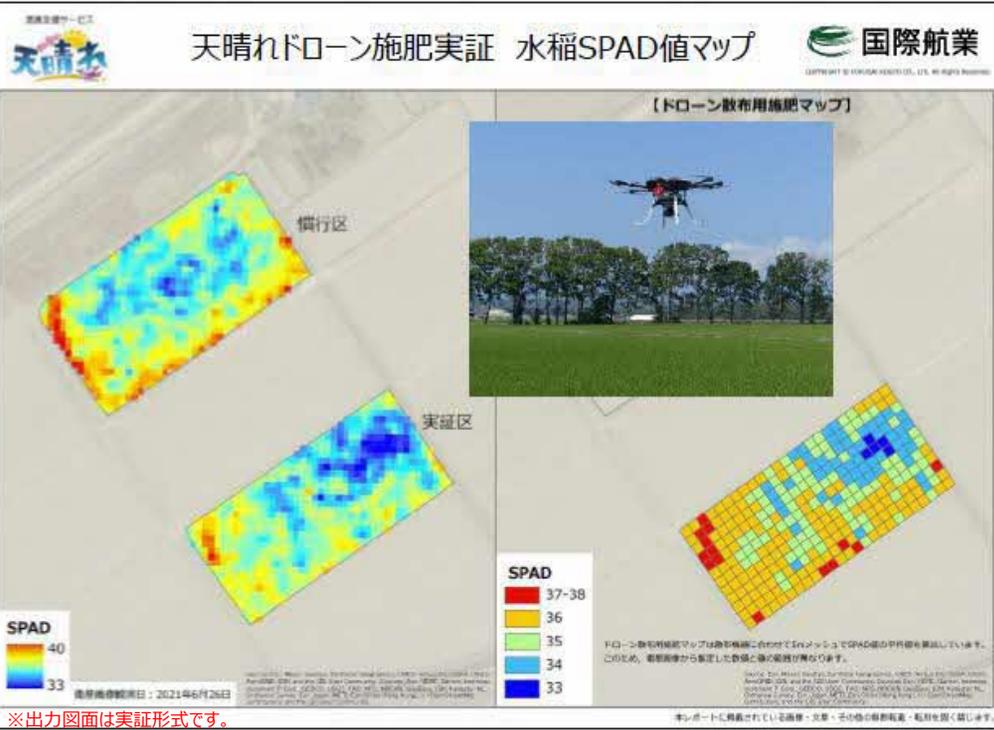
★ドローンの走行速度や展開方法について、計画を確定します。

④ 追肥の実施

⑤ 生育調査と検証

追肥前後で水稲自体の生育調査と慣行区との
比較検証（増収割合、品質など）を実施

SAc連携企画として2022シーズン稼働します。
道内でご希望の方、ご連絡ください



ピンポイント除草・追播の実証

ヤマハ発動機株式会社、国際航業株式会社、北日本スカイテック株式会社と連携した取り組み。

【目的・効果】

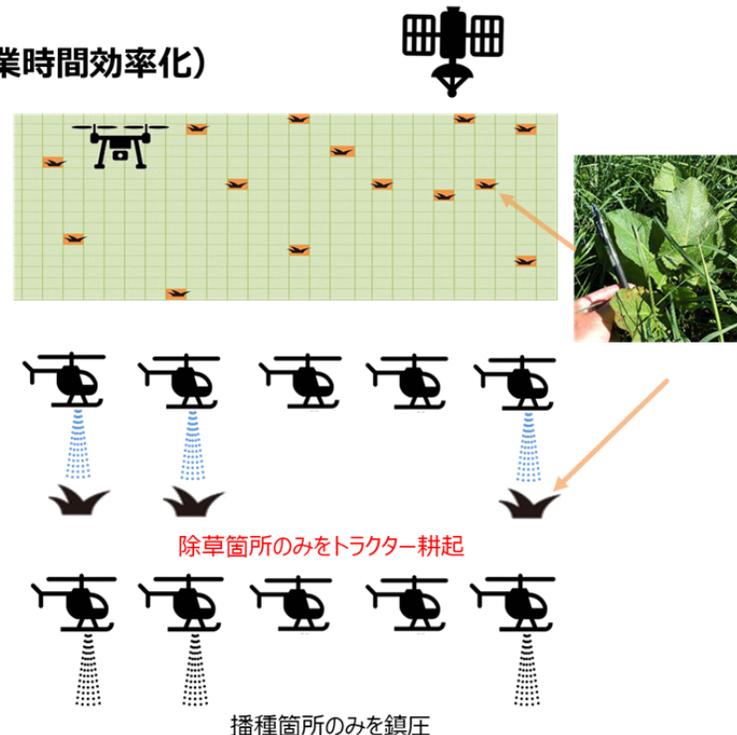
- ピンポイント散布地点をリモートセンシングにより把握（作業時間効率化）
- 資材投入削減（散布対象 20%/面積）
- 草地更新の簡易化（コスト削減）

【事業実施】2020年度道東地域、2021年道央地域

1、ドローン・衛星データ等から画像を解析、
草地の雑草(ギンギシ)を検出

2. 雑草部分に無人ヘリコプター自動飛行によりピンポイント散布

3. 除草した区画に肥料と牧草種子をピンポイント空中播種



除草箇所のみをトラクター耕起

播種箇所のみを鎮圧



【内容に関する問い合わせ先】

株式会社サングリン太陽園（担当：白川）

メールアドレス：t.shirakawa@sun-green.co.jp

スマート農業共同体（通称：SACとは）

「農業」でつながる、未来へつなげる スマート農業共同体

スマート農業共同体（SAC）は、「農業」をキーワードに農業者の皆さまと企業、団体、行政機関などが“つながる場”です。北海道農業が抱える課題を解決する手段の一つとして注目されているスマート農業。その現場実装のため、本共同体では、会員が連携・協力しながら最新技術の実証や共同研究を推進しています。日本の食糧基地である北海道の農業が未来に向かって持続的に発展を続けていけるように、SACは日々活動しています。

気になる製品・サービスをお手軽に！
**SACモニター支援制度
希望者大募集**

本共同体（SAC）では、会員企業の商品・サービスのモニター支援制度を設けており、本共同体のSACモニターとしてモニターして頂くことで、最新の技術・サービスを実証し、その結果を報告して頂くことで、農業者の課題を解決する一助として、農業者の皆さまに提供させていただきます。

募集期間	スマート農業推進計画に基づき、モニターとして頂く期間を決定いたします。
募集対象	① 北海道在住の農業者 ② 農業従事者として活躍中の方 ③ 農業に関する知識・経験が豊富の方 ④ 農業に関する課題を解決したいと考えている方
募集内容	① モニター期間：2021年11月～2022年3月（約4ヶ月） ② モニター期間中は、モニターとして頂く商品・サービスのモニターとして頂くことができます。 ③ モニター期間中は、モニターとして頂く商品・サービスのモニターとして頂くことができます。 ④ モニター期間中は、モニターとして頂く商品・サービスのモニターとして頂くことができます。
応募方法	① 応募：SAC事務局（〒060-0808 札幌市中央区南一条西10丁目1番1号）または、SAC事務局（〒060-0808 札幌市中央区南一条西10丁目1番1号）へお申し込みください。

※応募は先着順です。定員に達した時点で募集を締め切ります。

HOKKAIDO SMART AGRICULTURE SUMMIT
**北海道
スマート農業
SUMMIT**

10月27日(水) & 28日(木)
会場：テクノロジーファーム西の星
TECHNOLOGY FARM NISHINOSATO | 10:30-16:30

SAC × マイナビ 農業

生成者 2021.11.08
Report.15 青藤 千穂 さん

産産物検査官 2021.06.04
Report.14 AgVenture Lab

学生 2021.04.28
Report.13 酪農学園大学 堀川 蓮 さん



- ・新技術の普及推進（会員企業の製品・サービスのモニター支援制度）
- ・イベント活動（大型イベント限らず、オンラインセミナーや実地での講演会も多数開催）
- ・情報発信事業（WEBサイトとSNSを活用して農業に関わる最新情報をお届け）

本共同体では、農業の発展のため、ともに歩んでいく企業・農業者会員を募集しています。

関連WEBサイトのご紹介

農業情報、会員情報など日々発信中



公式Facebook



SAC WEB



公式LINE@

【内容に関する問い合わせ先】
SAC事務局（担当：鈴木、白川）
ホームページ：<https://hsac.jp/>
メールアドレス：bureau@hsac.jp